**2025年度「個別進学相談会（川西会場）」開催のご報告**

今年9月21日、「進路支援研究会」と協賛校の共同開催による「個別進学相談会」を、川西アステ市民プラザ　　　（アステホール）にて開催いたしました。「進路支援研究会」は主に阪神中学校長会OBと阪神地区の民間教育の　　主翼を担う地域密着型の学習塾の塾長によって構成しており、阪神地区の子どもたちと進学先の学校とを「繋いでいく」　ことを主目的として活動しています。様々な活動を展開していますが、地域の子どもたちが進学先の先生方と直に向き合いながら進路への理解を深めていくこの「個別進学相談会」は、「繋いでいく」活動の象徴とも言えるイベントと位置付けています。本研究会の活動にご協賛いただいている私学は年々増えてきており、2025年度は30校余りのご協賛をいただいています。本相談会はその趣旨をご理解いただき、2年目より伊丹市教育委員会様のご後援をいただいてきております。川西での初の開催となりました今年度は、新たに川西市教育委員会様のご後援もいただきました。

今年度の相談会には、私学23校と公立６校の計２９校のご参加がありました。アステホールは十分な広さがあり、　　空間的にもゆったりとした中での相談会となりました。また、待ち時間が必要な校も10校余りありましたが、時間的にもゆったりとした中での面談となっていました。ご来場いただいた生徒・保護者の皆様にとっても、先生方にとっても有意義な時間を共有いただけたものと思います。川西からは川西緑台高校様と川西北陵高校様にご参加いただきましたが、両校のブース共にほとんど途切れることなく席が埋まっていました。「進路相談・学習相談」のブースも設けておりましたが、複数志願選抜のシステムから実際の選抜（入試）の状況に至るまで実に様々なお尋ねがあったようです。経験値の高い塾長が対応していましたので、生徒・保護者の皆さんも得心がいかれた様子で席を離れておいででした。

今年度の相談会は川西市での初の開催であり、言わば「はじめの一歩」とも呼ぶべきものでした。想定していた以上に有意義な一歩を踏み出せたとの思いはあります。しかしながら子どもたちと進学先を「繋いでいく」という理念からすると、これまで以上に広く深く繋いでいかなければならないとの思いが勝っています。来年度の相談会を伊丹・川西・宝塚の三地区で開催すること、対象の子どもたちの層を拡げていくこと等、検討課題も何点か認識しております。関係各位のますますのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げる次第です。